NEWS RELEASE

2025 年 11 月 25 日
株式会社みずほ銀行

「M's PayBridge」と freee 各種プロダクトとの連携始動
～freee 各種プロダクトでクレジットカード決済対応の請求書発行機能を提供～

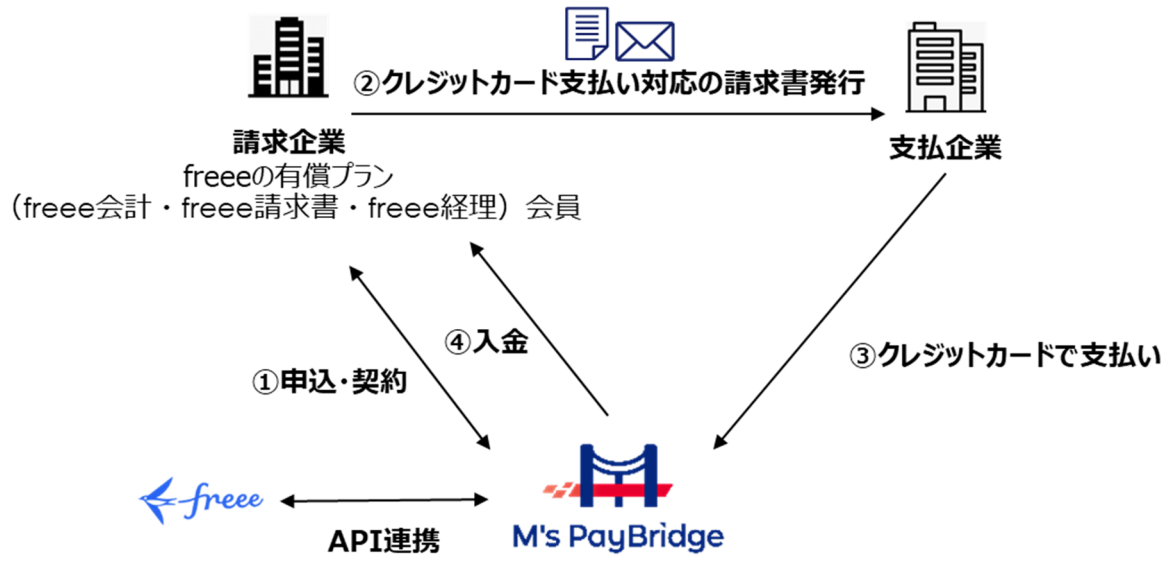
株式会社みずほ銀行（頭取：加藤　勝彦、以下「みずほ銀行」）は、フリー株式会社（CEO：佐々木　大輔、以下「freee」）と連携し、みずほ銀行が提供する企業間決済プラットフォーム「M's PayBridge」と freee の各種プロダクトが連携した新機能の提供を開始します。

M's PayBridge は、GMO イプシロンのオンライン決済インフラ「fincode byGMO」を活用し、請求・資金回収・支払業務を一元管理できるプラットフォームです。

１．本連携の概要

今回の連携により、freee が提供する freee 会計・freee 請求書・freee 経理の法人向け有償プラン（以下、「freee サービス」）をご利用のお客さまは、M's PayBridge を活用することで、従来の銀行振込による請求に加え、クレジットカード決済に対応した請求書発行が可能となります。

これにより、その請求書を受け取った企業は請求企業への支払い方法の選択肢が広がるというメリットがあり、また請求企業においても資金回収の迅速化や業務負荷の軽減といったメリットがあるなど、企業間取引における様々な課題解決に貢献します。



２．連携のポイント

（１）主な提供価値・メリット

- 支払企業に対して、請求書発行時に、銀行振込だけでなくクレジットカードの選択肢を提供できる
- クレジットカード決済を活用することで、請求企業は請求書発行から回収までの業務負担の軽減やミス防止、情報の可視化につながる

（２） ご利用方法

- freee サービスをご利用中のお客さまは、サービス画面から M's　PayBridge アカウントの申請・取得を行い、連携・同期することで、M's　PayBridge のクレジットカード決済をご利用できます。
- freee サービスと M's PayBridge を同時にお申し込みするお客さま、または既に M's PayBridge をご利用中で新たに有償プランにご加入されるお客さまも（※1）、サービス画面から M's PayBridge アカウントの申請・取得を行い、連携・同期することで、同様のメリットをご利用できます。

この度の取り組みは、2025 年 4 月 24 日付プレスリリース「企業間決済プラットフォーム「M's PayBridge」の取扱開始について」（※2）で公表した M's PayBridge の業務効率化サービスとの連携方針に基づくサービス拡充の第一弾です。2026 年春頃をめどに M's PayBridge の決済結果を freee の各種プロダクトと自動連携することで、クレジットカード決済に対応した請求書発行から消込・会計処理まで一連の業務プロセスをより効率的に管理できるサービスの提供も予定しています。

【業務効率化の対象範囲拡大を段階的に実現】

以降、順次機能拡充を予定

みずほ銀行とGMOイプシロンは、今回のfreeeとの連携を皮切りに、今後も様々な外部サービスとの連携を拡大し「M's PayBridge」の機能拡充を続けていくとともに、多様化する企業のニーズに応え、お客さまの成長を支援し、社会全体の持続的な発展に努めていきます。

※1　既にM's PayBridgeをご利用中のお客さまは、freeeテナントとしてのM's PayBridgeの新規アカウント取得も必要になります。

※2　2025年4月24日付ニュースリリース
「企業間決済プラットフォーム「M's PayBridge」の取扱開始について」
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20250424_4release_jp.pdf

以　上